

平成 25 年度 事業報告

社会福祉法人

横浜市神奈川区社会福祉協議会

平成 25 年度 横浜市神奈川区社会福祉協議会 事業報告

平成 25 年度 事業のトピックス

1 「住民支え合いマップづくり事業」がスタート

平成 25 年度は地域福祉活動計画に基づき、身近な地域での要援護者の把握、見守り、支え合いの取組に本格的に着手するため、まず「住民支え合いマップづくり事業」（住民流福祉総合研究所の木原孝久先生が講師）を開始したところ、約 20 地区の民生委員担当地区や単位自治会町内会からの参加があり、マップづくりの中で現在また将来にわたり、不安を抱える世帯の状況が発見されました。また、8 月からは区内の地域包括支援センター（地域ケアプラザなどに設置）の毎月の個別事例検討会に職員が出席させていただきました。

これらから把握された困った問題を抱える個別世帯に対し、地域の皆様と話し合いながら、生活の相談に乗る活動を始めています。また地域の中で交流を深めるお茶のみサロンを始めたりする活動があちこちで立ち上がり、区社協は、これらの活動に対し、助成金などの支援を行いました。

また、11 月には、愛知県安城市社協職員と城南町内会の藤野会長をお招きし、講演会と事例発表を行いました。

2 災害時の要援護者支援の講座、視察見学会及び東日本大震災被災地の視察

11 月から「ご近所パワーの底力パート 3」連続講座として、区内の障害者団体の代表の皆さんから災害発生時の不安や地域とのつながりについてのお話を聞いたり、単位自治会町内会から防災活動の取組のお話を聞く会を開催しました。また先進的に取り組んでいる「鎌倉市七里ガ浜自治会」と「東京都墨田区隅田西町会」を視察しました。また 6 月には東日本大震災被災地（南三陸町、石巻市立大川小学校）の視察を行いました。

3 ガイドボランティア講座などの開催（幅広い福祉保健人材の育成）

障害児者と暮らす世帯の生活支援につなげていくため、年間を通じて、身近な地域ケアプラザの協力を得て、講座を開催し、受講者がガイドボランティアに登録していただき、移動情報センターで受けた相談に対応することができるようになりました。

4 地区社協活動、ふれあい訪問活動などの勉強会・研修会への協力と助成金制度の見直し

地区社協役員による東京都江東区南砂団地の視察や各地区からの依頼に基づき勉強会や研修会に協力しました。また、区社協助成金制度に詳細な助成区分を設け、26年度からより適正なものにするよう見直しました。地区ボランティアセンターを運営している大口・七島地区と菅田地区の2地区には引き続き、運営支援を行いました。

5 第30回区社会福祉大会の開催と活動功労者への感謝

大会では、川崎市で活動する「ボランティアグループ すずの会」の鈴木恵子氏の講演会を実施するとともに、活動功労者の皆様に感謝状を贈呈しました。

6 区社協の財務状況

区社協の財務状況は、地域の皆様からの会費収入や善意の結晶である共同募金からの配分収入が大きな減少もなく当初の予定通り事業を遂行することができました。今後とも民間の立場から地域福祉を推進していくために、神奈川区社会福祉協議会は、その役割を果たしていきます。

神奈川区社会福祉協議会活動のめざすもの

**【1人の100歩より、100人の1歩】
「神奈川区23万人ネットワーク」を目指して
～ とともに作り上げていくために ～**

重点項目 1 身近な地域での住民のつながり・支えあい活動の推進

【共同募金配分事業・地域福祉推進事業】

1 民生委員とふれあい訪問員等による見守り・支えあい活動と公的機関が連携した困った問題の解決に向けたネットワークの仕組づくり（活動計画：支援策③を参照）

① 「住民支えあいマップづくり」をきっかけにした小地域における見守り推進事業

住民支えあいマップとは、地区を約50世帯に分け、その地区内に住む「世話焼きさん」に参加してもらい、高齢者等の日々の動きや交流状況、頼りにしている人などをマップに落とししていくものです。住民支えあいマップ作成をつうじ、地域で様々な見守り活動が行われていることがわかり、個別課題や地域の多様な課題が見えてきました。

①住民支えあいマップをきっかけとした見守り研修の実施

小地域における見守りを進めるために、住民流福祉総合研究所木原孝久氏から、見守り・支えあいの意義や必要性、そして、その手法としての住民支えあいマップの作成方法や課題抽出の方法、課題の解決方法について学びました。第3回～4回にかけて、参加者のエリアで実際にマップを作成し、地域の実情を把握しました。

○日時・回数 第1回 5月22日・第2回 6月5日

第3回 6月12日・第4回 8月7日

※いずれも水曜日。時間は10時30分～16時

○場 所 全4回ともには一と友神奈川

○参加者 全38名

○内 容 第1回 オリエンテーション

第2回 マップ作りに向けての講義、模擬マップ作り 他

第3回 「世話焼きさん」を呼んで、マップ作りの実践

第4回 各地域で作成したマップに対しての指導



②「住民支え合いマップ」フォローアップ研修

各地区で進めてきた見守り推進の取り組みをさらに進めるため、住民支え合いマップ作りの先進地区である愛知県安城市の城南町内会藤野千秋氏と安城市社協吉村了子氏をお招きし、研修会を行いました。

○日 時 12月11日 14時～16時

○場 所 かなつくホール

○参加者 140名

○内 容 ①安城市社協における小地域支援の取組
②安城市城南町内会における住民支え合いマップを活用した要援護者の支援事例
③神奈川区内で取り組みを始めた3地区（新子安北部自治会、白幡南町自治会、西神奈川一丁目富家町町内会）と藤野氏、吉村氏によるパネルディスカッション。

③住民支え合いマップを活用し、50世帯を単位とした見守り活動の推進

10自治会町内会（自治会町内会全体で実施し、民生委員も参加）と4地区民生委員児童委員協議会（民生委員16名の担当地区で実施）において、住民支え合いマップ作りを行い、住民どうしのつながりの把握、地域課題の発見、孤立している高齢者の把握を行いました。

（自治会町内会）

○新子安北部自治会 ○神之木町町内会 ○神之木町南自治会

○西寺尾第二自治会 ○東急片倉町内会 ○片倉町兎山自治会

○羽沢南町内会 ○西神奈川一丁目富家町町内会 ○鳥越町会

○立町町内会

（地区民生委員児童委員協議会）

○白幡地区民児協 2名 ○六角橋地区民児協 2名

○菅田地区民児協 3名 ○三ッ沢地区民児協 9名

【共同募金配分事業・善意銀行運営・地域福祉推進事業】

2 自治会・町内会と協働でつくる災害時要援護者支援などの仕組づくり

(活動計画：支援策④ 災害時の要援護者支援の仕組づくり 参照)

① 「見たい！知りたい！聞いてみたい！ご近所パワーの底力パート3」の開催

高齢者や障害者等、災害時要援護者に対する支援は、日頃からの把握や見守り体制が構築されていなければできません。そこで、当事者の方や区内、他都市の先進事例を学ぶことで、災害時要援護者対策を進めるきっかけとなる講座（全4回）を行いました。

(第1回)

○日 時 11月29日 14時～16時

参加者 78名

講 師 区視覚障害者福祉協会 神崎会長
市車椅子の会神奈川支部 高木会長
区聴力障害者福祉協会 梶村会長
横浜やまびこ会神奈川区支部 望月副会長

内 容 地域で暮らす障害当事者と家族の話を聞いたほか、参加者との意見交換も行いました。



(第2回)

○日 時 12月20日 14時～16時

参加者 69名

講 師 二ツ谷町内会 伊東防災部長
東急片倉町内会 湯沢会長
新子安北部自治会 山田副会長
白幡西町自治会 嶋津副会長
神北地区連合町内会 小川会長
菅田地区社協会計 倉石氏

内 容 災害時に向けた要援護者の把握と支援について、区内の先進的な取り組みについて報告をしていただき、参

加者と意見交換を行いました。

(第3回)

○日 時 2月8日 14時～16時

参加者 51名

内 容 住民の誰もが、災害時に避難場所の運営ができるマニュアル作りを行い、その啓発に取り組んでいる鎌倉市七里ガ浜自治会の視察研修を行いました。

(第4回)

○日 時 2月28日 8時～17時

参加者 85名

内 容 住民アンケートによる要援護者の把握、把握した要援護者のマップ作りや要援護者の参加した救出訓練、平常時から活躍する「災害サポート隊」等の先進的な取り組みを行っている東京都墨田区隅田西町会の視察研修を行いました。



② 「東日本大震災被災地支援ツアーの実施」

東日本大震災の被災地を支援するとともに、被災された方々のお話を聞き、平常時から災害時の体制づくりを考える一助とするため、南三陸町と石巻市を訪問しました。

○実施日 平成25年6月3日～4日

○参加者 88名（民生委員37名、自治会町内会40名、事務局11名）

○内 容

大型バス2台に分乗し、次の被災地を視察しました

- ・ 南三陸町 防災対策庁舎、ベイサイドアリーナ、魚市場
- ・ 南三陸町 南三陸復興商店街「さんさん商店街」
- ・ 石巻市 大川小学校



大川地区慰霊塔で黙とうをささげる一行

3 地区社協の支援（活動計画：支援策② 地区社協の組織と活動の充実 参照）

①地区社協分科会と事務担当者
会議の合同会議の開催

区社協からの助成金や研修会の案内、地区社協の取り組みの紹介などを行う会議を年6回開催しました。また、6月には高齢者の見守りを行う先進地区である江東区南砂団地の視察研修を実施しました。

第1回：4月26日 第2回：6月21日 第3回：8月8日
第4回：10月17日 第5回：12月5日
第6回：2月19日

③ 地区社協役員等研修会の開催

神奈川区でも集合団地における見守り体制の充実が課題となっています。このようななか、先進地域である南砂団地を視察し、今後の事業展開の参考としました。

○日時：6月21日

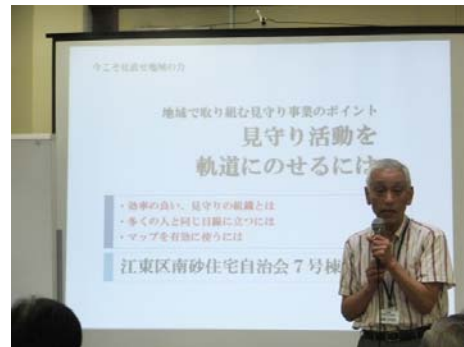
○場所：東京都江東区南砂住宅自治会

○参加者数：全60名参加

○内 容：①高齢者地域見守り支援事業について

②南砂団地の取り組みについて

「見守り活動を軌道にのせるには」



④ 地区社協相談支援事業

職員が地区社協理事会・事務局会議、役員打合せなどに出向き、地区社協の運営や活動について、他地区や他区の情報を提供した他、先進事例を紹介するなど、具体的な活動支援を行いました。

⑤ 地区社協活動の広報支援

区社協ホームページや区社協だよりで、地区社協の活動や行事の紹介を行いました。

<p>⑥ 各地区ふれあい訪問活動等への支援</p>	<p>地区社協が区から受託しているふれあい訪問事業が円滑に進められるよう、見守りの方法や担い手の増強などについて地区社協の相談に乗り、研修などの支援を行いました。</p> <p>(研修事例の紹介)</p> <p>《幸ヶ谷地区社協》 全2回</p> <p>区社協地区担当職員と反町地域ケアプラザ所長が参加し、地域の行事等に出てこられない高齢者をいかに見守っていくかを、話し合った。また、町会ごとに気になる人を出しあった。</p> <p>《青木第一地区社協》全1回</p> <p>区社協地区担当職員と反町地域ケアプラザ所長が講師として、これからの地域での見守り活動とケアプラザに寄せられる高齢者からの相談状況について説明した。</p> <p>《片倉地区社協》 全1回</p> <p>小地域で高齢者を見守る意義について説明するとともに、26年度から各自治会町内会で、ふれあい訪問員が参加したケア会議を行うことを決めた。</p> <p>《神北地区社協》全1回</p> <p>ふれあい訪問員、地域の自治会長を対象に、区社協事務局長が、ふれあい訪問活動の意義や歴史などについて、説明した。</p> <p>《大口・七島地区社協》全1回</p> <p>日頃、地域で活動している地区社協活動について、区社協事務局長からお話するとともに、様々な関係機関との連携について説明した。</p>
<p>⑥地区ボランティアセンターの運営及び設置の取組支援</p>	<p>地区ボランティアセンターの運営費を助成するとともに、職員が定例会議に出席し、運営の支援を行いました。</p> <p>《地区ボランティア設置地区》</p> <p>○大口・七島地区</p> <p>年間依頼件数：8件</p> <p>主な依頼内容：草木の剪定、障子の張替えなど</p> <p>○菅田地区</p> <p>年間依頼件数：30件</p> <p>主な依頼内容：草刈り・枝切り、郵便受けの修理など</p>

4 地域ケアプラザ

- ・地域包括支援センターと民生委員が連携した身近な地域での困った個別の課題の解決に向けたネットワークの仕組づくり（活動計画：支援策⑥ 参照）

① 地区民協との間での困った問題を抱える要援護者情報の共有化と解決に向けた取組

①民協定例会議への出席

地区民協定例会に職員が出向き、関連する区社協事業を紹介した他、民生委員から、困りごとや悩みなどをお聞きし、それらを解決するための取組みを行いました。

②地域福祉ネットワーク会議の開催

多様な生活課題を抱えながら地域で暮らす方を、民生委員さんをはじめ地域の方々が、日常生活のなかで見守りを行っています。これら支援者と支援機関が連携することで、制度だけでは解決できない課題に向き合いました。

(1) 制度に該当しない障害者

生活福祉資金の相談に来所しましたが、制度には未該当。その後、同居の母が死去し、金銭面だけでなく、生活面やご近所との関係性にも課題を抱えていることが分かりました。

○開催回数：5回

○参加者：階下に住む方、民生委員（4名）、町内会長、神之木地域包括支援センター（看護師）、区高齢・障害支援課ケースワーカー、区社協次長、生活福祉資金担当、地区担当

(2) 制度、サービス利用を拒否する高齢者世帯

母と娘の2人暮らし世帯で母はサービス利用を拒否。さらに、娘は母のことには無関心でした。母子の様子や接点のある方を探すために、近隣の方から話を聞きました。

○開催回数：2回

○参加者：隣にお住まいの方、民生委員、前民生委員、反町地域包括支援センター（所長、主任ケアマネージャー）、区高齢・障害支援課保健師、区社協地区担当職員

<p>② 包括支援センター定例カンファレンスへの参加</p> <p>③ 包括支援センターが主催する地域ケア会議への参加</p> <p>④ 課題解決型の地域支え合い連絡会への参加</p>	<p>(3) 制度、サービスに未該当の気になる高齢者のいる世帯</p> <p>母と3人の息子で暮らしているが、母が近所にお金や食べ物を無心していました。息子との関係性や家庭内のことが全く分からず、近所の方から話を聞きました。</p> <p>○開催回数：2回</p> <p>○参加者：近所の方、民生委員、町内会長、反町地域包括支援センター（所長、主任ケアマネージャー）、区高齢・障害支援課ケースワーカー、区社協地区担当職員</p> <p>包括支援センターで行われている毎月の定例カンファレンスに職員が出向き、包括支援センターや区役所高齢・障害支援課と情報の共有化を図りました。また、制度では解決が困難な課題を抽出し、上記のような地域福祉ネットワーク会議の開催に繋がりました。</p> <p>※区内全8か所の包括支援センターの定例カンファレンスに平成25年8月から参加。</p> <p>民生委員などの地域関係者と医療・保健・福祉の専門機関が集まり、個別の課題解決のために協議する地域ケア会議に参加しました。</p> <p>※片倉三枚地域ケアプラザで開催。全2回。</p> <p>認知症高齢者支援や地域子育て支援、住民支え合いマップの作製など個々の課題を解決するために地域ケアプラザが事務局となって開催する地域支え合い連絡会や問題別委員会に参加しました。</p> <p>※菅田地域ケアプラザ</p> <p>拡大支え合い連絡会の開催：1回</p> <p>高齢者支援委員会：2回 子育て支援委員会：2回</p>
--	--

5 地区社協、福祉団体への活動助成・配分（活動計画：支援策① 助成金制度の充実 参照）

① 神奈川区社協社協助成金

平成25年度から、従来の区社協助成金（財源は市社協のふれあい助成金）と共同募金配分事業助成金及び善意銀行配分金を統合。新たな区社協助成金とし、総額10,346,849円をA区分～K区分として配分しました。※詳細は、別表1 参照

① 区社協助成金A～C区分の助成

市社協補助金を源資とするふれあい助成金に区社協が実施してきた従来の共同募金配分金による事業助成を統合し助成を行いました（平成25年度から実施）

○ 受配団体：120団体（A～C区分）

○ 助成総額：7,271,300円

内訳：A区分（市民参加による地域福祉推進事業）

53件 4,030,700円

B区分（障害者当事者活動）

11件 715,000円

C区分（福祉のまちづくり活動）

56件 2,525,600円

② 区社協助成金D～K区分の助成

善意銀行預託金を財源とし、市民活動団体の立ち上げ資金等に助成を行いました。

○ 受配団体：144団体（D～K区分）

○ 助成総額：3,075,549円

内訳：D区分（立ち上げ助成）

6件 292,000円

E区分（区社協会員団体助成）

113件 1,695,000円

F区分（周年記念助成）

5件 250,000円

G区分（福祉関係団体連絡会活動助成）

3件 150,000円

H区分（子育て支援団体備品購入等設備更新助成）

11件 359,449円

I区分（地区ボランティアセンター助成）

2件 200,000円

J区分（先駆的事業助成）

	<p style="text-align: right;">2件 69,100円</p> <p style="text-align: center;">K区分（障害当事者団体経費助成）</p> <p style="text-align: right;">2件 60,000円</p>
<p>② 年末たすけあい募金の配分金による助成・配分</p>	<p>年末たすけあい募金を原資として、区内の地域福祉団体、障害者施設、地区社協に配分を行いました。</p>
	<p>① 年末たすけあい募金実績額</p>
	<p style="text-align: right;">16,504,111円（平成25年度の実績）</p>
	<p>② 年末たすけあい募金配分（平成25年度募金実績からの配分）</p>
	<p>○ 受配団体：146団体</p>
	<p>○ 助成総額：14,889,120円</p>
	<p style="text-align: right;">詳細は、別表2参照</p>
	<p>内訳：地域配分(事業配分)</p>
	<p style="text-align: right;">112件 6,749,300円（決定額）</p>
	<p>区域配分(障害者施設等配分)</p>
	<p style="text-align: right;">13件 870,820円（決定額）</p>
	<p>地区社協育成助成金(地区社協の平成26年度活動財源)</p>
	<p style="text-align: right;">21件 7,269,000円</p>
<p>③ 善意銀行からの配分</p>	<p>区民の皆様から寄せられた預託金を地域福祉を推進する団体、施設などに配分しました。</p>
	<p>○配分金 総額, 4,183,549円</p>
	<p style="text-align: right;">詳細は別表1参照</p>
	<p>内訳： 神奈川県社協助成金A区分～C区分</p>
	<p style="text-align: right;">1,108,000円</p>
	<p> 神奈川県社協助成金D区分～K区分</p>
	<p style="text-align: right;">144件 3,075,549円(再掲)</p>
<p>④ 会費収入から会員団体への助成</p>	<p>第4種自治会・町内会の会費収入の一部を地区社協支援費として、助成しました。</p>
	<p>内訳：地区社協支援費</p>
	<p style="text-align: right;">21件 1,150,000円</p>
<p>⑤ 地区社協への助成</p>	<p>地区社協の運営と活動の推進を目的に、21地区の地区社協を対象に助成金を交付しました。</p>
	<p>内訳：地区社協活動費 1,050,000円</p>
	<p> 地区社協育成助成金 1,473,000円</p>
	<p style="text-align: right;">(平成24年度共同募金実績の1割相当)</p>

重点項目2 幅広い福祉保健人材の育成

(活動計画：支援策④ 地区の福祉活動の担い手(ボランティア)育成の仕組づくり 参照)

【ボランティアセンター事業・福祉保健活動拠点運営】

1 区域におけるボランティア活動の推進(区ボランティアセンター)

①新規ボランティアの発掘と育成・登録ボランティアへのフォローアップ

①ボランティア入門講座の開催

ボランティア活動の基礎、高齢者疑似体験、車いす体験などを「ボランティア入門講座」として定期的に行いました。

- ・開催回数 年間13回
- ・場所 は一と女神奈川
- ・参加者 のべ46名



②ボランティア交流会

年1回開催し、参加人数は35人。登録ボランティアを対象に、ボランティア保険の説明、実技ボランティア披露、グループワーク等を行いました。

③ボランティア専門講座の開催

多様なボランティア講座を実施し、ボランティアの育成を行いました。

○ガイドボランティア講座～車いす編～

年3回実施し、参加のべ人数は18人。講義と実技・特別支援学校の見学等を行いました。

○ガイドボランティア講座～視覚障害者編～

年4回実施し、参加のべ人数は27人。講義と実技、実習等を行いました。

○手話講座

年10回実施し、参加人数のべ185人。講師を聴覚障害者に依頼し、手話グループと協力して講座の立案をし、運営しました。



○傾聴ボランティア養成講座

年4回実施し、参加人数のべ99人。傾聴の基本についての講義等を行いました。

○心の健康サポーター講座

年3回実施し、参加人数のべ89人。精神障害者への理解・啓発を図るため、当事者の講演を行いました。

○心の健康サポーター講座フォローアップ講座

年2回実施し、参加人数のべ8人。心の健康サポーター講座参加者のフォローアップを行いました。

② ボランティア活動に関する相談、登録、斡旋、ニーズ調整

ボランティア窓口をはと友2階に常設し、相談、登録、ニーズ調整等を行いました。

○ボランティア相談窓口の開設時間

月～土 9:00～17:00

○ボランティア依頼件数

単発 115件

継続 29件

合計 144件 (ニーズ対応率75%)

○ボランティア派遣者数

障害児者 92名

高齢者 456名

児童 6名

その他 83名

合計 637名

○コーディネーターのスキルアップ会議等の開催

定例会議：12回 外部研修への参加：1回

○ボランティア新規登録者数

個人登録 62名 (累計492名)

団体登録 4団体108名 (累計74団体1216名)

③区ボランティアセンター
広報啓発の充実

①神奈川県ボランティアセンター通信の発行

年4回 タウンニュースに掲載

発行部数：1回 50,000部

②広報よこはま神奈川区版への掲載

年4回 発行部数：1回120,000部

③はばたきの発行

神奈川区登録ボランティアへのフォローアップ

年1回 発行部数：1回1,000部

④区福祉保健活動拠点の運営
(指定管理者 市委託事業)

はと友神奈川を受託し、運営しました。

指定期間：23年4月1日～28年3月31日

開館時間：9:00～21:00 (日・祭日は～17:00)

業務内容：部屋の貸出、印刷機、メールボックス、ロッカーの貸出し出ボランティア相談・紹介・支援

①部屋別利用実績

区分	利用件数			
	午前	午後	夜間	計
団体交流室	640	622	305	1,567
多目的研修室	201	212	148	561
点字製作室	127	136	35	298
録音室	227	250	133	610
対面朗読室	130	151	81	362
合計	1,325	1,371	702	3,398

②団体別利用実績

利用団体内訳			
ボランティア	障害者団体・ 当事者団体	その他	計
1,189	500	1,709	3,398

※詳細は別表3-1参照

③登録団体数

合計 147団体

内訳：ボランティア団体：43団体

当事者団体：27団体

その他：77団体

※詳細は別表3-2参照

⑤福祉教育の推進

①福祉体験学習

ア 小学生を対象とした体験学習の実施

小学生全学年を対象とした福祉体験プログラムをケアプラザと共催で行いました。

○菅田地域ケアプラザ

「はじめての点字」

・実施日：8月5日 参加者：7名

○片倉三枚地域ケアプラザ

「ケアプラザを知ろう」

・実施日：8月8日 参加者：6名

○六角橋地域ケアプラザ

「認知症を知ろう」

・実施日：8月20日 参加者：6名

○新子安地域ケアプラザ

「車いすを体験してみよう」

・実施日：8月1日 参加者：7人

イ 中高生を対象とした体験事業

夏休みを利用し、区内在住・在学の中高生を対象に社会福祉施設などでの体験の場を提供し、福祉への関心を高めるために実施しました。

・実施日：7月22日から8月9日

・参加者：18人

・実習先：19施設（たんまち地域活動ホーム、パティスリーもくせい他）

②学校が行う福祉教育学習の相談コーディネート

区内の各学校が行う福祉教育に、他団体とともに協力しました

○菅田中学校

視覚障害理解の講話とアイマスク体験

講師：View-Net 神奈川

視覚障害理解の講話と点字体験

講師：View-Net 神奈川

聴覚障害理解の講話と手話体験

講師：神奈川県聴覚障害者福祉協会

手話サークルわかば

身体障害者理解の講話と車椅子体験

講師：高木 保夫氏

高齢者理解の講話と疑似体験

講師：菅田地域ケアプラザ 佐野 俊一氏

実施日：9月25日

対象学年：1年生

参加者：184名

○横浜創英高校

視覚障害理解の講話（盲導犬について）

実施日：9月29日

講師：View-Net神奈川

対象者：福祉委員及び文化祭来校者 参加者：20名

○西寺尾第二小学校

高齢者理解の講話と疑似体験

実施日：10月24日

講師：神之木地域ケアプラザ

神奈川区ボランティアセンター

対象学年：4年生 参加者：99名

○浦島小学校

高齢者理解の講話と疑似体験

実施日：11月5日

講師：新子安地域ケアプラザ

神奈川区ボランティアセンター

対象学年：4年生 1クラス 参加者：24名

○神橋小学校

視覚障害理解の講話とアイマスク・点字体験

実施日：11月11日

講師：View-Net神奈川

対象学年：4年生 2クラス 参加者：78名

○中丸小学校

視覚障害者理解の講話と給食交流会

実施日：11月26日

講師：View-Net神奈川

対象学年：1～4年生 参加者：270名

○城郷高等学校

聴覚障害理解の講話と手話講座

実施日：1月9日 手話講座

1月16日 聴覚障害理解の講座

講 師：神奈川県聴力障害者福祉協会

対象学年：1年生 参加者：280名

○横浜市立盲特別支援学校

地域福祉における社協の存在意義についての講話

実施日：1月23日

講 師：神奈川県主任児童委員

神奈川県社会福祉協議会

対象学年：1年生 参加者：13名

○第一学院高等学校

視覚障害理解の講話・アイマスク体験

実施日：2月20日

講 師：View-Net 神奈川

対象学年：1、2年生 参加者：約40名

○栗田谷中学校

視覚障害理解の講話と車椅子体験

実施日：3月

3月

講 師：高木 保夫氏

View-Net 神奈川

対象学年：3年生 参加者：135名

2 地域ケアプラザと連携したボランティア活動の推進

<p>①小地域におけるボランティアコーディネート体制の確立に向けた取組（地区ボランティアセンターの推進）</p>	<p>地域ケアプラザと地区社協・区社協が連携した、ボランティア活動の仕組づくりとして、2地区での地区ボランティアセンターの取組を推進しました。地区ボランティアセンターの運営費を助成するとともに、職員が定例会議に出席し、運営の支援を行いました。</p> <p>《地区ボランティア設置地区》</p> <p>○大口・七島地区 年間依頼件数：8件 主な依頼内容：草木の剪定、障子の張替えなど</p> <p>○菅田地区 年間依頼件数：30件 主な依頼内容：草刈り・枝切り、郵便受けの修理など</p>
<p>②地域ケアプラザ受託事業「地域づくりデビュー」講座への協力</p>	<p>講座受講者が地域の活動につながり、定着できるよう地域ケアプラザと協力して、プログラムの企画や地域の活動の受け皿づくりなどを行いました。</p> <p>○新子安地域ケアプラザ 「プチ・コーヒー職人デビュー講座」</p> <p>○六角橋地域ケアプラザ 「地震対策そなえ隊」</p> <p>○片倉三枚地域ケアプラザ 「ご近所たすけあい隊」</p> <p>○沢渡三ツ沢地域ケアプラザ 「お散歩ボランティア養成講座」</p> <p>○反町地域ケアプラザ 「ちょこっとおたすけ隊」</p> <p>○菅田地域ケアプラザ 「コミュニティカフェでボランティアを始めるためのこだわりコーヒー講座」</p> <p>○神之木地域ケアプラザ 「地域の力応援講座」</p>
<p>③ 移動情報センターと地域ケアプラザが連携した小地域における障害児・者のためのボランティアネットワークづくり</p>	<p>障害児・者のいる家族からのお困りごとに対応できるよう、小地域ごとに地域ケアプラザと連携し、障害理解講座などを開催しました。終了後、ガイドボランティアの登録に繋がりました。</p> <p>①六角橋地域ケアプラザ</p> <p>○第1回 平成25年9月19日 参加者16名 内容 ・知的障害の疑似体験 講師：障害児者支援啓発ネットわっしょい</p> <p>○第2回 平成25年9月20日～10月2日</p>

参加者 13 名

内容 ・ 知的障害児者施設でのふれあい体験

体験先： かながわ地域活動ホームほのぼの／神奈川県
福祉活動ホーム／アトリエもくせい／
キッチンみなと

○第 3 回 平成 25 年 10 月 3 日

参加者 8 名

内容 ・ 障害のある方と日々接して感じる事

講師： かながわ地域活動ホームほのぼの 関氏

- ・ ふれあい体験の振り返りグループワーク
- ・ 知的障害児者の移動とガイドボランティアについて

*ガイドボランティア登録者 2 名

②神之木地域ケアプラザ

○日時 平成 26 年 1 月 20 日

○参加者 19 名

○内 容 ・ ナザレ工房保護者 渡邊厚子氏の方からの話

・ 知的障害の疑似体験

講師： 障害児者支援啓発ネットわっしょい

・ 知的障害児者の移動とガイドボランティアについて

*ガイドボランティア登録者 2 名

④ 地域ケアプラザ地域 交流コーディネータ 一連絡会開催

月 1 回開催されている連絡会の事務局を担い、情報交換やスキルアップの研修を行うとともに各地域ケアプラザとの協働事業により地域を支援しました。

3 障害児者にかかわるボランティア等の発掘と育成

①ガイドボランティア講座

障害者の外出支援にかかわるガイドボランティア登録者を増加させるため、ガイドボランティア講座を開催しました。

①車いす利用者のためのガイドボランティア講座の実施<全3回>

○第1回 6月1日

参加者8名

内容 障害のある人の外出支援の意義と役割について
車いす操作と関わり方

講師：NPO 法人移動サービスアクセス 石山氏 東氏

○第2回 6月18日

参加者5名

内容 横浜市立北綱島特別支援学校にて児童とのふれあい
実習

講師：横浜市立北綱島特別支援学校 丸田剛洋 氏

○第3回 平成25年6月25日

参加者5名

内容 講座の振り返り

*ガイドボランティア登録者1名

②知的障害者のためのガイドボランティア講座の実施

<移動情報センターと地域ケアプラザが連携した小地域における
障害児・者のためのボランティアネットワークづくり 参照>

③視覚障害者のためのガイドボランティア講座の実施

講師：神奈川区視覚障害者福祉協会会長 神崎好喜 氏

○第1回 11月6日

参加者6名

内容 開講式／講義

○第2回 11月8日

参加者8名

内容 講義／実技

○第3回 11月12日

参加者6名

内容 実技／ガイドボランティアについて

<p>②ガイドボランティア フォローアップ研修</p> <p>⑤ ガイドボランティア 交流会</p> <p>④精神障害の理解啓発講 座</p>	<p>○第4回 11月22日 参加者7名 内容 視覚障害者4名と中華街・山下公園へおでかけ実習 *ガイドボランティア登録者4名</p> <p>平成24年度に行った「身体障害者の外出を支援するガイドボランテ ィア養成講座」の参加者を対象としたフォローアップ講座を開催しまし た。</p> <p>○日時 5月28日 ○参加者6名 ○内容 中華街・山下公園周辺をおでかけ実習</p> <p>ガイドボランティア同士の交流と情報交換を目的として、交流会を実 施しました。</p> <p>○日時 1月17日 ○参加者8名 ○内容 活動してみたの感想や疑問を話し合うフリートーク</p> <p>精神障害の理解を深めるための講座「こころの健康サポーター講座」 を神奈川区精神保健福祉関係機関連絡会と共催しました。</p> <p>○第1回 11月5日 参加者27名 内容 精神障害者の現状 講師：区福祉保健センター担当部長 中井邦雄 氏 神奈川区生活支援センター 大澤賢治 氏</p> <p>○第2回 11月12日 参加者36名 内容 病を知る 講師：神奈川診療所 赤塚英則 先生</p> <p>○第3回 11月19日 参加者26名 内容 当事者・支える人の話</p> <p>○フォローアップ見学 1月28日 参加者5名 生活支援センター／わかば工芸／ペガサス見学</p>
---	---

○フォローアップ実習 1月31日
参加者3名
浦島共同作業所での実習

重点項目3 高齢者、障害者、子育て中の親などへの生活支援を行います。

(「地域における権利擁護の推進」を含む)

(活動計画：支援策⑦ 障害児・者支援、支援策⑧ 子育て支援 参照)

【権利擁護事業】

1 神奈川県社協あんしんセンターの運営 (市補助、委託事業)

**①契約に基づく定期訪問、
金銭管理サービス**

誰もが地域で安心してくらすことができるように、高齢者や障害者に対して権利擁護に関する相談や、定期訪問を通して福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービス等を実施しました。

○初回相談件数：49件

○定期訪問・金銭管理サービス契約件数：29件

(平成26年3月末現在)

※新規契約件数：10件 (前年比+3件)

終了件数：4件 (前年比-1件)

○財産関係書類等預かりサービス：11件 (前年比+1件)

(平成26年3月末現在)

※終了件数：2件 (前年同数)

○利用者数：29名 (前年度比：+6名)

(平成26年3月末現在)

②制度の広報、啓発

①権利擁護事業の啓発のための出張説明会の実施

○7月1日 20時～20時30分

神大寺地区センター (参加者30名)

○9月3日 9時50分～11時50分

うらしま荘 (参加者45名)

○12月12日 14時～16時20分

区役所本館大会議室 (参加者80名)

	<p>②成年後見制度の啓発のための講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 9月24日(火) 15時～17時 ・場所 反町地域ケアプラザ ・参加者 72名 ・内容 ～実例で学ぶ成年後見制度とのつきあい方～
【外出支援事業】	
2 外出支援サービス事業（市委託事業）、区社協送迎サービス事業	
<p>① 送迎サービス</p>	<p>神奈川区在住の自力で外出が困難な在宅の高齢者・障害者を対象とし、外出の機会を拡大するとともに家族の負担の軽減を図るために送迎サービスを実施しました。また、よりよい送迎サービスの提供と安全運行を目的として、運転ボランティア交流会を開催し安全運転についての再確認と情報交換を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用総件数：851回 ○利用登録者：130名 ○利用車両：リフト付ワゴン車2台、スロープ付き車1台 ○ボランティア：18名 <p style="text-align: right;">※詳細 別表4参照</p>
【外出支援事業】	
3 障害者のための移動情報センターの運営（市委託事業）	
<p>①相談窓口での相談調整・ニーズの発掘と分析</p> <p>②障害児・者のためのボランティアの発掘と育成、ネットワークづくり</p>	<p>区内障害児者を対象とした地域の移動情報の収集、相談・調整を行う「移動情報センター」を運営し、地域の支援機関等のネットワーク作り、人材発掘と育成を行いました。</p> <p>当事者やそのご家族から相談を受け付け、個々の状況に応じて適切な支援機関を紹介しました。</p> <p>相談件数125件</p> <ul style="list-style-type: none"> ○内訳 知的62、重心12、身体37、視覚8、高齢者3、その他3 <p><3 障害児者にかかわるボランティア等の発掘と育成 参照></p>

<p>③障害児者支援事業者を対象にした事業者懇談会の開催</p>	<p>障害児者支援事業者間の連携を図り、事業者のスキルアップを図ることを目的として、事業者懇談会を開催致しました。</p> <p>○第1回：7月23日 参加者 14名 内容 障害者外出支援制度の改正後の状況について情報交換</p> <p>○第2回：2月27日 参加者 17名 内容 知的障害児者の理解を深めるためのワークショップ～行動の意味・困っている行動の背景には～ 講師：国立特別支援教育総合研究所 尾崎祐三氏</p>
<p>④情報発信</p>	<p>相談事業をはじめとした様々な事業を紹介するため、下記のとおり広報活動を行いました。</p> <p>○「出かけY o ! 通信」3号・4号発行（1,000部/回） ○タウンニュースへの掲載（1回） ○区内障害児者関係団体、公共施設、区内小中学校、市内養護学校・特別支援学校等へのちらしの配布</p>
<p>⑤推進会議の開催</p>	<p>移動情報センターの各業務推進について、意見をいただく推進会を定期的に行いました。</p> <p>○5回実施 ○のべ参加者 102名</p>

【地域福祉推進事業】

4 障害児・者のための支援

<p>① 余暇プログラムの実施</p>	<p>①神奈川県学齢障害児夏余暇支援事業「いっしょにあそぼっ」を地域ケアプラザと共催で実施しました。</p> <p>○沢渡三ツ沢地域ケアプラザ「楽しい！パン作り」 日時：7月21日 参加者：親子11組24名／ボランティア：17名</p> <p>○神奈川県社会福祉協議会「宇宙科学館におでかけしよう！」 日時：8月4日 参加者：5名／ボランティア：6名</p>
----------------------------	--

	<p>○神之木地域ケアプラザ「ホットケーキを作ろう！」 日時：8月6日 参加者：5名／ボランティア：15名</p> <p>○六角橋地域ケアプラザ「プール遊び&パン作り」 日時：8月8日 参加者：8名／ボランティア22名</p> <p>○反町地域ケアプラザ「餃子づくり講座」 日時：8月21日 参加者：6名／ボランティア18名</p> <p>②新春ファミリー企画「いっしょにあそぼっ〜大原学園でお餅つき」 大原学園と反町地域ケアプラザと共催で実施しました。保護者の方は別室の喫茶コーナーで移動情報センター担当者を交えた情報交換を行いました。 ・日時：1月6日 ・場所：はーと友神奈川、大原学園 ・参加人数：親子11組／ボランティア14名</p> <p>② 障害者週間キャンペーン 今年度も「障害者週間」（毎年12月3日～12月9日までの1週間）を区民に周知し、理解と認識を深めるために、区障害者地域作業所連絡会の広報活動とあわせてキャンペーンを実施しました。 ・日時：12月4日（水）13：30～14：30 ・場所：JR東神奈川駅周辺 ・内容：啓発用チラシ・ティッシュの配付 ・協力施設および障害者地域作業所 NPO 法人もくせい、ペガサス、希望更生センター、リワーク神奈川計32名</p> <p>③区障害者作業所連絡会との連携 定例会に参加し、情報交換・意見交換を行いました。</p> <p>④区障害者自立支援協議会との連携 区内の障害者支援の課題に取り組むため、区役所、地域作業所、入所施設などが参加する協議会に参加しました。</p> <p>⑤ 地域作業所設立時の資金貸付 昨年度に引き続き、資金の準備を行いました。結果的に貸付はありませんでした。</p>
--	--

5 子育て支援

①神奈川県子育て情報ホームページ「はぐはぐ神奈川」の運営

平成19年2月に子育て中の方の支援を目的としてホームページ『はぐはぐ神奈川』を立ち上げました。今年度も引き続き、ホームページ『はぐはぐ神奈川』を運営しました。

運営は、ホームページの方針などを決める“はぐはぐ作成委員会”と実際の取材や記事づくり、更新などを行う子育て中のママの集まり“はぐはぐ編集隊”とで協力して行いました。

○ 訪問者数（ホームページをどれくらいの人が見たか）

合計52,008人（月平均約4,334人、日平均約142人）

②子育て支援団体に対する助成金制度の実施

平成25年度から区社協助成金の中に、子育て支援団体の備品購入等設備更新のための助成制度を設けるほか、通年活動に助成しました。（再掲）

内訳： A区分（市民活動団体助成）

24件 1,295,900円

H区分（子育て支援団体備品購入等設備更新助成）

11件 359,449円

6 低所得者、被災者への生活支援

①生活福祉資金貸付事業（県社会福祉協議会委託事業）

低所得者及び身体障害者世帯などの要援護世帯に、自立更生のための資金貸付・償還指導を民生委員の協力のもとに行いました。

○相談件数：1908件（昨年度 963件）

○貸付件数： 16件（昨年度 24件）

（内訳）総合支援資金 0件

教育支援資金 11件

福祉費 緊急小口資金 1件

療養費 0件

臨時特例つなぎ資金 3件

不動産担保型 0件

要保護世帯向け不動産担保型 1件

<p>② 災害見舞金</p>	<p>火災等の災害を受けた罹災者に対し、見舞金を支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交付対象罹災件数：4 (内訳) 全焼2件、半焼2件 ○見舞金総額50,000円 (区社協見舞金：20,000円、 県共募見舞金：30,000円)
<p>③ 緊急援護事業</p>	<p>行路病人等に対し緊急入院・入所に要する肌着や食費交通費を支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総額：20,330円 (58件) (内訳) 交通費支給 56件 17,200円 <li style="padding-left: 40px;">食費 1件 130円 <li style="padding-left: 40px;">宿泊代 1件 3,000円
<p>④ 交通遺児見舞金</p>	<p>神奈川県社会福祉協議会と連携し、交通事故により保護者を失った遺児に対して見舞金支給する事業です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○件数 5,0000円((高校卒業時1件)

重点項目 4 会員活動と地域福祉の推進

【法人運営】

1 各種分科会・部会の開催

<p>① 施設分科会の開催</p>	<p>区内施設長が情報交換のできる場、顔の見える関係をつくる場として、施設長交流会を実施しました。</p> <p>○日時 7月16日</p> <p>○内容 「神奈川区の福祉施策について」 神奈川区福祉保健センター 中井邦雄氏 各分野ごとに分かれての情報交換会</p>
<p>② 民生委員児童委員協議会分科会の開催</p>	<p>毎月、実施される区民生委員児童委員協議会の一部を分科会として、議題を提出しました。</p> <p>別紙 「分科会の開催」 参照</p>
<p>③ 自治会町内会部会の開催</p>	<p>毎月、実施される連自治会町内会の一部を分科会として、議題を提出しました。</p> <p>別紙 「分科会の開催」 参照</p>
<p>④ ボランティア分科会の開催</p>	<p>団体どおしの理解を深め、結束を深めるため、分科会を開催しました。</p> <p>○日時 1月21日 参加者 34名</p> <p>○内容 新会員の活動紹介 平成26年度 各種助成金制度のご案内 今後のボランティア分科会の運営について</p>

【法人運営】

2 会員入会状況

	<p>○新規入会 5件(第1種：1団体、第5種：2団体、第6種：2団体)</p> <p>○退会 0件</p> <p>○現在の会員数 242件</p>
--	--

重点項目 5 社協の発展に向けた運営基盤の強化

【法人運営・共同募金配分事業】

1 福祉への理解啓発、広報

① 「区社協だより」の発行

区社協事業等の周知、PRを目的に、タウンニュースへ記事を掲載し、区内各世帯に配布しました。各世帯に配布したことにより、ボランティア活動希望や事業へのお問い合わせの電話を多くいただきました。

○発行回数：1回（2月） ○発行エリア：神奈川区内全域

○配付先：区内各世帯配布

○内 容

【79号】（8月22日号）

「支え合いマップ」作成へ

【80号】（3月20日号）

地域活動者が語る区社会福祉協議会

② タウンニュース、「広報よこはま神奈川区版」に事業情報掲載

地区社協や区社協事業、ボランティアセンターをより多くの方に知っていただくため、タウンニュースや「広報よこはま神奈川区版」に広報を掲載し、区内各世帯に配布しました。○掲載回数：8回

○内容

災害避難講座／傾聴ボランティア講座／地域デビュー講座／心の健康サポーター講座／ガイドボランティア養成講座／共同募金のお知らせ／送迎ボランティア募集／「いっしょにあそぼ！」障害児余暇支援事業／移動情報サービスの紹介／かながわ福祉の学校／ボランティア入門講座／ボランティアコーディネーター養成講座／神奈川おでかけサポーター養成講座、等

③ 区社協ホームページの運営

区民への情報提供と区社協への理解を拡大するため、区社協のホームページを運営しました。

地区や区社協の動きを“その時”に伝えられるように、『地区社協訪問記』をはじめ、各種事業のご案内や助成金情報など、幅広く掲載しました。

○掲載内容

神奈川区社協について／区社協の事業／地区社協の活動紹介／ボランティア募集情報／事業計画・事業報告／広報紙、チラシ等

○訪問者数（ホームページに訪れた人の延べ合計人数）

合計 49,002人（1ヵ月平均約 4,084人、1日平均約134人）

○ホームページ更新回数 合計 48回

○URL <http://www.kanakushakyo.com/>

<p>④ 神奈川区民まつりへの参加</p> <p>⑤ 第30回社会福祉大会の開催</p>	<p>反町公園で行われた神奈川区民まつりの企画・調整・運営に協力しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：10月13日（日） 10時～15時 ・人数：約50,000人 ・場所：反町公園 ・参加：共同募金、日赤に関する啓発パネル展示、着ぐるみ「クロクマ」による日赤活動のPR、赤い羽根共同募金活動など <p>地域福祉の一層の推進を図ることを目的として、社会福祉大会を実施しました。</p> <p>○日時 平成26年2月7日（金）13時30分～15時30分</p> <p>○場所 かなつくホール</p> <p>○参加者 250人</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉功労者表彰 <ul style="list-style-type: none"> 金品寄付功労のあった個人 1名 金品寄付功労のあった団体 10団体 福祉活動功労のあった方・団体 10名・団体 5年以上勤続した民生委員児童委員 8名 ・すずの会代表 鈴木恵子氏の講演 「住民主体の地域活動」 ～気になる人を真ん中に～
【法人運営】	
<p>2 善意銀行寄付金受入れの推進、福祉活動功労者への感謝</p>	
<p>① 善意銀行寄付金受入れの推進</p> <p>② 福祉活動功労者への感謝</p>	<p>①預託金 総額1,243,462円(個人11件、団体37件)</p> <p>②預託物品 12件(個人3件、団体9件)</p> <p>※預託金・預託物品の詳細は、別表5参照</p> <p>福祉活動功労者に対する感謝の意を示すため、社会福祉大会の場等で、区社協会長と区長の連名の感謝状を次の方にお渡ししました。</p> <p>○金品寄付功労のあった個人 4名</p> <p>○金品寄付功労のあった団体 13団体</p> <p>○福祉活動功労のあった方 15名</p> <p>○5年以上勤続した民生委員児童委員 97名</p>
【ボランティアセンター事業】	
<p>3 災害ボランティアセンターの整備</p>	
<p>① 災害ボランティアネットワークへの協力</p>	<p>区社協と防災ネットワーク会議はまちづくりについて、協力関係があることから、引き続き、区役所と連携して後方支援を行いました。</p>

【法人運営】	
4 地域福祉保健計画の推進	
<p>① 神奈川県地域福祉活動計画（平成24年度～平成27年度）の周知と理解の促進</p> <p>② 地区支援チームの取り組みへの協力</p>	<p>地域福祉活動計画（平成24年度～平成27年度）の内容を周知するため、昨年度作成した冊子をふれあい訪問員研修会等の場で配布、説明するとともに、身近な地域での活動が地域福祉の推進にいかに関与するかを説明しました。</p> <p>地域福祉活動計画の内容は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 21地区ごとの地域の取組状況（重点課題と今後の取組） ○ 神奈川県で行われている地域福祉活動のしくみを掲載 ○ 区社会福祉協議会の支援策（①～⑦） <p>21地区での区地域福祉保健計画の取組について、神奈川県役所、地域ケアプラザ地域包括支援センター、区社協による地区支援チームが地域の懇談会などに参加しました。</p>
【法人運営】	
5 理事会、評議員会、正副会長会、監事会、委員会	
<p>① 理事会、評議員会、正副会長会</p> <p>② 監事による監査</p> <p>③ 委員会</p>	<p>定期的を開催し、重要な事業の進め方について審議をしました。また、正副会長会を原則として、毎月、開催し、事業の進め方や方針を審議しました。</p> <p style="text-align: right;">詳細は別紙参照</p> <p>適正な組織運営を図るため、理事会などに参加いただきますとともに、監事会を開催しました。</p> <p style="text-align: right;">詳細は別紙参照</p> <p>助成金審査委員会は年3回開催しました（6月、9月、3月）</p> <p style="text-align: right;">詳細は別紙参照</p>

神奈川県神奈川区社協の組織体制

平成26年度の事業計画の遂行及び予算執行は、以下の体制で行っていきます。

※ 氏名及び役職は平成26年5月27日現在です。

理事・監事

三役	代表者名	所 属
会長	狩野茂秋	浦島丘地区社会福祉協議会
副会長	高木保夫	市車椅子の会神奈川区支部
副会長	河原史郎	菅田地区民児協
	伊東 満	神奈川自治連合会
	前原郁子	おしゃべり会
	田中隆博	区老人クラブ連合会
	井崎和夫	(社福) あおぞら
	寺田純一	かながわ地域活動ホーム
	大野健司	区障害者地域作業所連絡会
	中井邦雄	神奈川区福祉保健センター
	加賀一海	福祉関連事情有識者
監事	萩原秀子	三ツ沢地区民児協
監事	杉本信雄	特別養護老人ホーム羽沢の家
監事	島崎志紀子	神奈川区福祉保健課

評議員

氏 名	所 属
松島昌子	片倉地区民児協
井岡知子	神北地区民児協
平山三郎	羽沢地区社会福祉協議会
山根 誠	松見地区社会福祉協議会
佐藤 潮	神之木西寺尾連合自治会長
澤 兼一郎	青木第二地区自治会町内会連合会
中島 進	さくら会
柿田 登	反町活き粋シニアの会
藤本正子	区子ども会育成連絡協議会
石川清貴	区商店街連合会
神崎好喜	区視覚障害者福祉協会
瀧川陽子	横浜やまびこ会神奈川区支部
鶴貝昌樹	老人福祉センターうらしま荘
足立美智子	小鳩保育園
近藤祐子	(財)紫雲会 ゆかり荘
麻生順子	横浜市菅田地域ケアプラザ
岡村真由美	区障害者地域作業所連絡会
冢田美恵子	区校長会代表
矢島保道	区医師会
中村 等	神奈川区福祉保健課
石井宗男	神奈川区地域振興課
梶村富久子	福祉関連事情有識者
高橋正雄	福祉関連事情有識者

顧問

二宮 智美	神奈川区長
-------	-------

事務局 常勤職員

役職	氏 名
事務局長	山本一郎
事務局次長	和泉秀朗
	伊藤圭子
	梅木博志
	野上房子
	柴田真理子
	小川真美
	石川陽一
	小柳裕子
	矢嶋瑞貴

皆様、
どうぞよろしく
お願いいたします!